_{健康保险}被扶養者(異動)居

슦	·和	4	年 月		日扌	提出	ט	E 深 不		人民		\ ><	. 3 7.) / JE	•		令	和7年	F4月更新	
事業主記入	事美	業所	, ,,			е	-	業主]								
	石	称					E	名				1								
		業所 在地																		
	_																			
	番	話号									*	※本書類は必ず扶養追加希望日より10日以内に事業所から健保に提出すること。								
欄	E	本人押印・署名の省略にあたり、被保険者に届出意思を確認しました。] _			合はこの限りではありません)				
	収入に関する証明の添付が省略されている者は、所得税法上の 事業主が確認した 場合にOで囲んで 地容にOで囲んで												社会 名等	会保険党	<u></u> 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一					7
	くださ	٤١١.	(在認		皮保険者と 売柄を確認			明書類が	「省略されて	いる者につい										
444	老	被保険	全	000		0.0	200	<u></u>	生年 (四)	平•令	自	#	1	В						
被保険者欄	Ā	己号·襘	番号 (フリカナ)	999 52		- 98	999		月日 明チロウ	4	5	0 5 =	1	7 13	<u>事</u> 女					
	I FE	名	(氏) 健保 (名) 一郎					郎		民票 主所		•!	県●	●市●●字●	•0.	ΤE	5番	地 7号		
被	扶養	を者1	こなった場	合は	:「該当	」、被扶	養者	でなくな	なった場	合は「非	該当				地 のように住民票通りの ください。	住所を記	記載の	こと。		
				••		T									Ī	↓ [-	↓「子」は長男・長女等。詳細は裏面参照			
被扶養者	_{EE}		<u>(フリガナ) ゲン</u> (氏)			(名)	ハナコ		生		•令	4 6 0		月 7 0	5 性別 男 女	続柄		妻		
		v10	健保				花子		個. 番		1 2 3		3 4 - 5		8 - 9 0 1 2			女		
	住民	民票	✓ 被保険者 被保険者		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				居所	✓ 被保険者と同じ			被保険者と異なる(下記に住所記載)			〈別居の場合〉 仕送り				
	住		Τ –						住所	T	_					円/月 (仕送り証明を添付してください)				
欄 1		(当)	被扶養者になった日	令和	年 0 6	月 0 9	0 1	職業		4.小・中: 5.高・大: 合者 6.その他	学生(年収	987,400 ⊭	理由			は保険者の資格取得)
	(非語	\ 該当 〉	被扶養者でなくなった日	令和	年	-	F	理由	1.死亡 2.就職	4.75歳到: 5.雇用保	達			海外特例要件	海外特例要件 海外特例要件 非該当 非該当	要件 1		1.留学 3.特 2.同行家族	:定活動 5.その他() 4.海外婚姻 入(年 月 日)	
	資格征	3.収入増加 発確認書 発行が必要 →必要な場合は、別途「資格確認書 交付申請書」を							6.その他() Page 1											
被扶養者欄 2			(フリカ・ナ) ケン	ンポ			タロウ 生			年昭平令 1			Ŧ.	月	日 性別 男・女		↓ [-	↓「子」は長男・長女等。詳細は裏面参照		参照
	氏	名	健保			(名) 太郎			月 個 /	1	5 6 7 8 - 9 被保険者と同じ		•	続		長男				
			被保険者と同じ					番									〈別居の場合〉			
	1土口	民票 所	✓ 被保険者と異なる(下記に住所記載)							居所住所	•••						仕送り ※			
		-171	●●都●		●999号			以下		●123番地の46 マンション●●999号			円/月 (仕送り証明を添付してください。 1.出生 4.結婚							
	該	(当)	被扶養者になった日	令和	0 6	り 0 9	0 1	職業	2.パート 3.年金受約	5.高・大: 合者 6.その他	学生(b(以下 (3 年生)	Ξ)	年収	250,000 F	理由	2.離	職 5.数	技保険者の資格取得 ÷の他 ()
	(非語		被扶養者でなくなった日	令和	年	月	E	理由	1.死亡 2.就職 3.収入増加	4.75歳到: 5.雇用保 0 6.その他	険の	受給開始	,	海外特 例要件	海外特例要件 海外特例 該当 非該当		理由	2.同行家族	i定活動 5.その他() 4.海外婚姻 入(年 月 日)	
	資格研	確認書	発行が必	要	⇒必要	な場合は、	、別途「資格確認書 交付申請				,	,		*			学生の場合は仕送りは不要です			
Ξ															-		↓ r=	子」は長男	·長女等。詳細は裏面:	参照
被扶養者欄 3	氏名	- 夕	<u>(フリガナ)</u> (氏)			(名)			生年		• 令	1	Ŧ	Я	世 性別 男・女	- 続柄				
		• н	個番											- 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						
		民票	── 被保険者と同じ ── 被保険者と異なる(下記に住所記載)									被保険者	を同し	_ 1	被保険者と異なる(下記に住所記載) (別居の場 仕送り					
	住	所									Ŧ	_							円/ (仕送り証明を添付してくだ	
		、 数当	被扶養者になった日	令和	年	月	F	職業		4.小·中 5.高·大	学生((年生)		年収		理由	1.出生 4.結婚 2.離職 5.被保険者の資格取得 3.収入減 6.その他 (
	(非	′	被扶養者で	令和	年	月	F	理由	3.年金受料 1.死亡 2.就職	合者 6.その他 4.75歳到: 5.雇用保	達) 受給開始		海外特例要件	海外特例要件海外特例	E件 I	•	1.留学 3.特 2.同行家族	宇定活動 5.その他() 4.海外婚姻)
			なくなった日	₩	3.収入均			0.その他)		該当 / 非該当	المر	포피		入(年月日)				
	資格研	確認書	● 発行が必要 ⇒必要な場合は、別途「資格確認書 交付申請書」を提出のこ											備考						
	被保険者の配偶者 いない 健保 花							孑	Ē	配偶者の年収 987		00	円		配偶者の扶養の有無 扶養申請時提出書類-					٠٤١.

円

「扶養申請時提出書類一覧」記載の年収書類を提出してください。

記入方法

〇被保険者欄

・被保険者記号・番号 : 資格取得時に払い出しされた被保険者記号・番号をご記入ください。 ・氏名 : 氏名は住民票に登録されているものと同じ氏名を記入してください。

・生年月日 : 年号は該当するものを○で囲んでください。 ・性別 : 該当するものを○で囲んでください。

・住民票住所 :住民票の住所をご記入ください。〇〇番地など住民票記載通りに記入してください。

〇被扶養者欄

・氏名 : 氏名は住民票に登録されているものと同じ氏名を記入してください。

・続柄 : 該当するものを記入してください。子の場合は、長男・長女などと記入します。養子縁組していない場合には、妻の子・夫の子などと記載してください。

・個人番号:本人確認を行ったうえで、個人番号をご記入ください。

・住民票住所 :住民票住所が「被保険者と同じ」または「被保険者と異なる」にチェックを入れてください。

被保険者と異なる場合は、住民票住所をご記入ください。番地や番、字や大字など住民票通りに記入してください。 なお海外居住者については、国内における協力者住所(親族、被保険者の勤務先住所等)を方書きも含めてご記入の上、

「備考」欄に海外居住先の住所及び国内協力者が親族の場合は氏名及び続柄をご記入ください。

・被扶養者になった日・被保険者の健康保険加入と同時に提出する場合は「取得年月日」と同日、それ以外の場合は出生年月日等の実際に被扶養者になった日を

ご記入ください。

・年収: 今後1年間の年間収入見込額をご記入ください。収入には、非課税対象のもの(障害・遺族年金、失業給付等)も含みます。

非課税対象の収入がある場合は、受取金額が確認できる書類のコピーを添付の上、「備考」欄に具体的な内容をご記入ください。

・理由:被扶養者となった理由を〇で囲んでください。

・被扶養者でなくなった日:死亡による場合は死亡日の翌日を、それ以外の場合は非該当になった当日の日付をご記入ください。

・海外特例要件: 海外特例要件該当・非該当のいずれかを〇で囲み、理由をご記入ください。

・居所住所 : 居所住所が「被保険者と同じ」または「被保険者と異なる」にチェックを入れてください。被保険者と異なる場合は、居所住所をご記入ください。

・資格確認書 :マイナ保険証を持っていない方はチェックを入れて、「資格確認書 交付申請書」とあわせて提出してください。

・備考

・配偶者の氏名・年収 : 配偶者以外を被扶養者とする場合は、配偶者の氏名・年間収入をご記入ください。

これは、配偶者以外の方について、被保険者と配偶者のどちらの被扶養者に認定するのが適正なのかを確認するためです。

※扶養追加の場合は、書類を必ず10日以内に健保に提出してください。

すべての書類を揃えることが難しい場合は、本書類のみでも受け付けることが可能です。

受付後は1か月以内にすべての書類をご提出ください。かなわない場合は書類を返却し受付も無効となります。